

家業を活かした新規事業を競うアトツギ甲子園

◆中小企業の後継者が新規事業で競うイベント「アトツギ甲子園」

経済産業省・中小企業庁は2023年3月、全国の中小企業後継者（アトツギ）が家業を活かした新規事業アイデアを競うイベント「第3回アトツギ甲子園」の決勝大会を開催した。

「アトツギ甲子園」は、地域の経済を牽引する後継ぎを応援する場として始まり23年で3回目の開催となる。今回は全国から192名がエントリーした。挑戦資格は39歳以下の中小企業後継者で、書類審査を経て西日本、中日本、東日本の3ブロックの地方予選を勝ち抜いた15名が決勝大会に出場できる。審査項目は「新規性」「実現可能性」「社会性」「継承予定の会社の経営資源の活用」「熱量・ストーリー」の5つで、中川政七商店会長・中川淳氏など各界の有識者が審査を行う。

◆最優秀賞受賞者の新規事業は、防災と産業活用の両立を目指す新しい林業

第3回アトツギ甲子園で最優秀賞を獲得したのは、苗木生産会社を営むグリーンエルム（大分県）の後継者で、新規事業「里山ZERO BASE」の事業価値を証明したいと応募した。同事業は、現在の産業活用一辺倒の林業から、防災と産業活用の両立をはかる新しい林業を目指し、その土地本来の植生を調査し災害に強い森づくりを進めている。その他、優秀賞を受賞したのは下記4社の後継者になる。

事業者名	地域	発表概要
マクライフ	岡山県	テントに使われるような強靱なファイバーシートを水平に貼り地震に強く、省エネに役立つ天井を作る技術「マクテン」を主力とする。百貨店業務経験を活かし販売を拡大。人々の安全で豊かな生活を目指す。
ヴァレイ	奈良県	アパレルがECで成長するなか、小規模アパレル物販の課題、さらには縫製職人の働き場がないなどの課題を解決すべく、クラウドアトリエサービスを展開。すべての職人がクラウドワーキングで働ける世界をつくっていく。
小松屋	静岡県	家業の旅館が厳しい状況が続いたため、宿のコンセプトを一新、愛犬とくつろぐ上質な宿へ。今後は世界の愛犬連れの客層にも上質なサービスを展開していく。保護犬の支援活動や保護犬譲渡会も実施。
テクノツール	東京都	家業で重度肢体不自由者が働けるようにツールを開発・提供してきたことから、就労支援サービスを新たに展開。ツールやノウハウなどを企業に提供。どんな体の状態でも暮らしやすい社会、働きやすい会社を目指す。

出所：経済産業省の資料を参考にARC作成

アトツギ甲子園は、徐々に認知度も高まり、参加者同士のコミュニティもでき若手後継者の地域を超えたつながりのきっかけにもなっている。後継者のイノベーションを応援する新たな仕組みとして注目していきたい。 【秋元真理子】